

いまや世界中が「持続可能な社会」なるものを模索しています。

その大前提として、二酸化炭素の排出量を大幅に減らさなければなりません。滋賀県では2030年までに50%の削減を目指しています。

このたび独立行政法人科学技術振興機構の支援をうけ、自然との共生を基本とし、この目標を達成しながら新たな「豊かさ」を享受できるような、将来の滋賀の姿を描き出す研究を始めました。

自然と共生する滋賀の姿について、みなさんと共に考えてみたいと思います。

平成20年度 独立行政法人科学技術振興機構社会技術研究開発センター
「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」研究開発領域
採択プロジェクトキックオフフォーラム

滋賀をモデルとする 自然共生社会の将来像と その実現手法

平成21年1月26日(月) 13:00~17:10

コラボしが21 三階大会議室

入場無料

フォーラムにむけてのメッセージ

滋賀県知事 嘉田由紀子

基調講演

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」の展開にあたって

「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」領域総括 堀尾正鞠

滋賀県での取り組み

「持続可能な滋賀社会ビジョン」について

滋賀県琵琶湖環境部環境政策課 宮川正和

プロジェクト紹介

「滋賀をモデルとする自然共生社会の将来像とその実現手法」が目指すもの

滋賀県琵琶湖環境 科学研究センター	内藤正明	株式会社 地球の芽	高階智里	滋賀県立大学 環境科学部	鵜飼修
東近江市生活環境部 生活環境課	奥村清和	立命館大学 経済学部	島田幸司	京都大学大学院 地球環境学舎	由良僚章

パネルディスカッション「自然と共生する滋賀」

NPO法人 カーボンシング 有限会社ブレーバー フィールズ紀伊国屋 ドバイサ	堤幸一 岩田康子 堀尾正鞠 広島経済大学 川村健一	NPO法人 エコワークス 東北大学大学院 環境科学研究科 新妻弘明	清水陽介 奥村清和 山形与志樹	NPO法人 イーピーアイ 独立行政法人 国立環境研究所 山形与志樹
--	---------------------------------------	---	-----------------------	---

主催：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター

後援：独立行政法人科学技術振興機構 社会技術研究開発センター

滋賀をモデルとする自然共生社会の将来像とその実現手法

日時：平成21年1月26日(月) 13:00～17:10 会場：コラボしが21 三階大会議室 入場無料

■ プログラム

【司会】鵜飼 修（滋賀県立大学環境科学部 准教授）

13:00～13:10	フォーラムに向けてのメッセージ 滋賀県知事 嘉田由紀子
13:10～13:40	基調講演：「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」の展開について 「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」領域総括 堀尾 正鞠
13:40～13:55	滋賀県の取り組み：「持続可能な滋賀社会ビジョン」について 滋賀県琵琶湖環境部環境政策課 課長 宮川 正和
13:55～15:15	プロジェクト紹介： 「滋賀をモデルとする自然共生社会の将来像とその実現手法」 が目指すもの プロジェクトの全体概要 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター センター長 内藤 正明 小舟木エコ村での取り組み—住居レベルでの実践— 株式会社 地球の芽 高階 智里 彦根市S集落での実践—集落レベルでの実践— 滋賀県立大学環境科学部 准教授 鵜飼 修 東近江市での実践—市レベルでの実践— 東近江市生活環境部生活環境課 奥村 清和 統合評価モデルについて—将来社会像を定量的に描くための手法— 立命館大学経済学部 教授 島田 幸司 京都大学大学院 地球環境学舎 由良 僚章
15:15～15:45	休憩
15:45～17:00	パネルディスカッション：「自然と共生する滋賀」 司会：滋賀県琵琶湖環境科学研究センター センター長 内藤 正明 パネラー： NPO法人カーボンシンク 代表 堤 幸一 NPO法人エコワーカス 代表 清水 陽介 NPO法人イーピーイング 代表 井上 健雄 有限会社ブルーベリーフィールズ紀伊国屋 代表取締役 岩田 康子 東近江市生活環境部生活環境課 奥村清和 アドバイザー： 「地域に根ざした脱温暖化・環境共生社会」領域総括 堀尾 正鞠 東北大学大学院環境科学研究科 教授 新妻 弘明 独立行政法人国立環境研究所 主席研究員 山形与志樹 広島経済大学 教授 川村 健一
17:00～17:10	閉会あいさつ 滋賀県琵琶湖環境科学研究センター センター長 内藤 正明

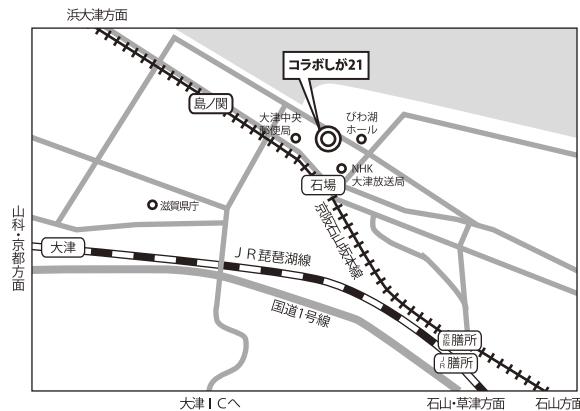
■ 会場アクセス

コラボしが21

住所：滋賀県大津市打出浜2-1 電話：077-511-1400

交通案内

JR大津駅よりバス約7分
または徒歩約20分
JR膳所駅より徒歩約15分
京阪石場駅より徒歩約3分
会場へは公共交通機関をご利用ください



■ 申込方法

下の申込書にご記入の上ファックスでお送りいただくか、電子メールにてお名前・人数・ご連絡先を事務局（担当・金：kim-j@lberi.jp）までお知らせください。
※ ご記入いただいた個人情報は、フォーラム以外の目的で使用することはありません。

■ お問い合わせ先

滋賀県琵琶湖環境科学研究センター 総合解析部門 総合解析担当

電話：077-526-4802 FAX：077-526-4803
担当：金 (kim-j@lberi.jp)**フォーラム参加申込書 FAX：077-526-4803**

(ふりがな) 氏名または団体名	参加人数： 人
連絡先	TEL： _____ FAX： _____ メールアドレス： _____